

科目コード	2698811	授業概要 【授業内容】 この授業では、都市社会学の古典的な業績について学ぶと同時に、近年の都市研究において注目を集めている空間論についても、その最新の成果を学ぶことをその内容としています。都市という空間で人々が暮らしている日常生活とそれを大きく枠づけている惑星規模で進行する都市化との関係について考察します。 【到達目標】 都市と空間に関する社会的な知識についての基本的な理解を深めると同時に、自らのローカルな場での日常生活を、グローバルな広がりをもって進行する都市化などの変化との関係で、考えることができるようになることを目標とする。 【授業テーマ】 第1回 都市研究の歴史的変遷 第2回 都市と都市的なもの 第3回 都市化の空間的展開 第4回 アンリ・ルフェーヴルとアーバン・スタディーズ 第5回 空間の社会的生産—その2つの側面 第6回 日常生活と生きられた空間 第7回 空間の三元弁証法—表象、実践、生 第8回 都市、空間、社会学 【学生へのメッセージ】 都市社会学についての基本的な知識と最新の空間論についての議論について学ぶ内容で、若干抽象的で理解の困難なところがあるかもしれませんが、人間が都市という具体的な場で、生きて活動することについての社会的な研究の意義と面白さに気づいてもらいたいと思っています。 【受講前の準備学習等】 都市社会学の基礎的な知識については、参考書としてあげた『都市社会学を学ぶ人のために』に目を通しておいください。空間論については、同じく参考書にあげた『都市への権利』を、わからなくてもよいので、読んでおいください。わからないさの雰囲気を理解しておく、いくぶん授業がわかりやすくなるかもしれません。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・都市社会学を学ぶ人のために（玉野和志 編／世界思想社／¥2,420／ISBN=9784790717386） ・都市への権利（アンリ・ルフェーヴル／ちくま学芸文庫／¥1,430／ISBN=9784480093769） ・空間の生産（アンリ・ルフェーヴル／青木書店／／ISBN=9784250200243） 現在、手に入りにくくなっているので、図書館等で借りられれば、読んでみるとよいでしょう。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	都市と空間の社会学	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	タマノ カズシ 玉野 和志 放送大学教授	
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2689120	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD:Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の基礎的な実験の中から3つの実験（目撃者証言、ミュラー・リヤー錯視、心理尺度）を行います。受講者は、それらの実験に実験者および参加者（協力者）として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ整理、レポートの書き方等について学びます。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学実験の概要、レポートの書き方等の説明 第2回 実験1「目撃者証言」の実施 第3回 実験1「目撃者証言」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第4回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」の実施 第5回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第6回 実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」の実施 第7回 実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第8回 まとめとレポート執筆指導 【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（エクセル、ワード等）を習得しておいてください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1）持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2）OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3）ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4）その他 ・マウス、USBメモリ（実験データ保存用）を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	イムラ ヒロコ 井村 弘子 沖縄国際大学名誉教授	
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	沖縄学習センター	

授業概要

科目コード	2698757	授 業 概 要	【授業内容】 私たちは日々食物を摂取し、その中に含まれている栄養成分を代謝してエネルギーや体に必要な成分を作り出して生きています。従って、代謝（栄養成分の分解・合成）は生きていることの証しともいえます。代謝には栄養成分の糖質、脂質、アミノ酸とタンパク質、ヌクレオチドと核酸などの生体分子の化学反応すなわち生化学反応が関わっています。健康であるということはこれらの生体成分の生化学反応が順調に行われていることを意味します。ところが、近年では食生活や生活習慣のみだれにより、この代謝がうまく機能しなくなる疾病（糖尿病等）が国民的に広がっています。 一見複雑に見える代謝も実は栄養成分の生化学反応として説明することができます。本講義では、栄養成分の種類と体の中での代謝的運命、そして代謝の乱れと疾病の関係について分かりやすく解説します。 【到達目標】 日頃の生活の中で代謝と病気の関連がわかるようになる。 【授業テーマ】 第1回 代謝総論 第2回 糖質とは 第3回 糖質代謝と疾病 第4回 脂質とは 第5回 脂質代謝と疾病 第6回 タンパク質とは 第7回 タンパク質代謝と疾病 第8回 核酸の代謝と疾病 【学生へのメッセージ】 健康が保たれていることは生体内の生化学反応が順調に進行していることを意味しています。しかしながら、体の中の生化学反応やその調節に不調が生じると病気（疾病）の状態になってしまいます。生化学反応は自分自身の中で常に起きている化学反応であり、健康と密接につながった身近な学習領域として理解することを期待します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容と関連する日々の話題に興味をもって接するよう努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業前にプリントは配布しますので、特に準備するものではありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・ナーシンググラフィカ人体の構造と機能② 臨床生化学（宮澤恵二／株式会社メディカ出版／¥2,970／ISBN=9784840481557） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	沖縄学習センター		
学習センターコード	47A		
クラスコード	K		
科目名	代謝と疾病が解る 栄養生化学		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	210		
定員	25名		
担当講師	オク ヒロスケ 屋 宏典 琉球大学名誉教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		
実施会場	沖縄学習センター		

科目コード	2698765	【授業内容】 ゲーム理論は複数の人々が意思決定に関して相互作用する状況を分析する理論で、政治・経済を含むさまざまな人間の社会活動とその結果を分析する上で有用な思考ツールとして定着しつつあります。この講義ではゲーム理論の考え方を現実社会で生じうる状況を通じて学びます。 講義方法は下記のとおりです。 ① 受講生を被験者とした簡単なゲームの実験をいくつか行います。またゲーム実験の後、自分の行動の選択理由について意見を交わします。 ② 適宜、グループディスカッションなど取り入れる場合があります。 【到達目標】 1. ゲーム理論の基本的考え方を理解できる。 2. 日常生活のなかでゲーム理論の考え方を応用することができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 戦略的に行動しよう ― ゲーム理論の世界 第2回 思い通りにならない ― 囚人のジレンマ 第3回 相手の視点で考える ― 失敗しないための心得 第4回 みんなわかっているのに抜け出せない ― 変えたくても変わらない理由 第5回 ゴールから考える ― 逆算の哲学 第6回 優柔不断がチャンス逃す ― あえて退路を断つ 第7回 有利な交渉の進め方 ― 交渉は最後が勝負 第8回 理論と現実のズレ ― ゲーム実験が示す意外な結果 【学生へのメッセージ】 講義は、受講生の皆さんと意見交流を行いながら進める予定です。また、1日目の講義の終わりに2日目に実施するレポートの課題内容を提示します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・ゼミナールゲーム理論入門（渡辺隆裕／日本経済新聞出版／¥3,850／ISBN=9784532133467） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	ゲーム理論	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	210	
定員	22名	
担当講師	ホリ カツヒコ 堀 勝彦 琉球大学国際地域創造学部准教授	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2689189	授業概要	【授業内容】 心理検査に関して、基礎理論、種類、方法などについての概説、各種の心理検査について紹介します。その後、2種類の心理検査（Y-G性格検査とバウムテスト）と1種類の心理尺度（タイプA性格）を取り上げ、それらの背景理論、実施方法、結果のまとめ方、解釈の仕方などに関して説明します。自らが実際に当該心理検査を受けて、その結果を解釈し、レポートにまとめてください（レポートについては授業時間中に指示します）。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理検査とはなにか？～心理検査が備えておくべき条件、倫理的配慮、実施方法上の注意 第2回 心理検査が測定する対象～知能についての概説 第3回 心理検査が測定する対象～性格についての概説 第4回 具体的な心理検査1 Y-G性格検査レポート執筆指導 第5回 投影法心理検査の基礎理論 第6回 具体的な心理検査2 バウムテスト 第7回 具体的な心理検査3 バウムテスト 第8回 具体的な心理検査4 心理尺度（タイプA性格） 【学生へのメッセージ】 実際に2つの心理検査と1つの心理尺度を実施し、その結果をレポートにまとめ提出してもらいます。そのレポートによって、成績評価を行います。1つでも提出されなければ単位は取得できません。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、定規（10cm程度のもの。直線が引ければ可）、赤鉛筆（赤ペンで可）、4Bの鉛筆、消しゴムを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	沖縄学習センター		
学習センターコード	47A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	タナカ カンジ 田中 寛二 琉球大学人文社会学部教授		
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター		

科目コード	2698781	授業概要 【授業内容】 数学で使う言葉には日常の言葉とは違い、独特の言い回しがあります。従って数学を「言語」という観点から捉え直します。外国語を初めて学ぶように、a、b、c、から始め文法を学びます。これらは他の言語と違い単純な構造をもっています。また論理的に考える、正しく推論するとはどういうことかについて例をあげ、議論しながら考えます。予備知識は仮定しませんし、自然と環境以外の学生向けの授業でもあります。 【到達目標】 日常使われる言語には、論理的思考を行う際に、よく使われる言葉、言い回しがあり、これらは、数学の言葉としても使われていることを認識することができる。そして、この数学で使われる言葉は、論理学でいう命題論理と述語論理の枠組みの中で説明されることを概観し、その言葉の意味や役割を理解し、身近なものと捉えてもらうことができる。 【授業テーマ】 第1回 数学で使う言葉とは 第2回 数学独特の言葉使いについて その1 第3回 幾つか練習をおこなう その1 第4回 数学独特の言葉使いについて その2 第5回 幾つか練習をおこなう その2 第6回 論理的思考について考える その1 第7回 論理的思考について考える その2 第8回 数学の推論について振り返り、授業のまとめを行う 【学生へのメッセージ】 予備知識は仮定しません。数学に親しみのない学生さんも受講してください。 【受講前の準備学習等】 事前配布資料をお送りしますので、分かる範囲で構いませんので、資料を読んでおいてください。シラバス、学生の皆さんへのメッセージの内容から判断して、自己学習に努めてください。また授業後に、配布資料の中から授業内容にあたる部分を再度読んで、復習をしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 学生証 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	数学の言葉	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	220	
定員	25名	
担当講師	クマベ マサヒロ 限部 正博 放送大学教授	
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2698846	【授業内容】 この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。 科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。 HK→学習センター HL→自宅等（Zoom） ※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自分で整えられるか確認してから科目登録してください。 脳の情報処理を模したAIであるニューラルネットワークを多層構造にしたものをディープラーニング（深層学習）と言います。深層学習は、画像や文章から例えばそこに描かれているものが犬か猫か、人間と同じように予測できます。 本講義では、深層学習の各モデルの大まかな仕組みとそれによって実現できる機能について事例とデモンストレーションに加え、日本ディープラーニング協会が主催する資格試験である「G検定」の問題演習を通じて学び、正しい基礎知識とAIを適切に活用できる能力を育むことを目標とします。 【到達目標】 画像や文章から意味のある情報を抽出するために、ディープラーニングの概要について理解し、課題に合わせた手法を的確に判断できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 AI・深層学習の概要 第2回 画像分類 第3回 セグメンテーション 第4回 画像生成 第5回 テキスト分類 第6回 アテンション 第7回 テキスト生成 第8回 AI・深層学習の社会実装に向けて 【学生へのメッセージ】 G検定の出題範囲は多岐に渡るため、本授業で扱う内容はその一部に限られます。今回の受講をきっかけに、各自での継続的な学習を進めていただければ幸いです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	HK	
科目名	事例から学ぶ AI・深層学習	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	10名	
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学工学部准教授	
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
授業概要		
実施会場	沖縄学習センター	【受講者が当日用意するもの】 1) 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2) OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3) ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4) その他 ・Googleアカウントあるいは放送大学キャンパスメールアカウントにログインできることを確認してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 ・深層学習教科書 ディープラーニング G検定（ジェネラリスト）公式テキスト 第3版（猪狩宇司、今井翔太、巢籠悠輔、瀬谷啓介、徳田有美子、中澤敏明、藤本敬介、古川直裕、松尾豊、松嶋達也／翔泳社／¥3,080／ISBN=9784798184814） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2698846		【授業内容】 ----- この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。 科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。 HK→学習センター HL→自宅等（Zoom） 本シラバスは、受講場所を「自宅（Zoom）」とする場合の注意事項等を記載しています。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を必ずご確認ください。 ※学習センターでの受講を希望する場合は、クラスコード「HK」のシラバスを確認してください。 -----
学習センター	沖縄学習センター		
学習センターコード	47A		
クラスコード	HL		
科目名	事例から学ぶ AI・深層学習		
科目区分	専門科目：情報	授業概要	脳の情報処理を模したAIであるニューラルネットワークを多層構造にしたものをディープラーニング（深層学習）と言います。深層学習は、画像や文章から例えばそこに描かれているものが犬か猫か、人間と同じように予測できます。 本講義では、深層学習の各モデルの大まかな仕組みとそれによって実現できる機能について事例とデモンストレーションに加え、日本ディープラーニング協会が主催する資格試験である「G検定」の問題演習を通じて学び、正しい基礎知識とAIを適切に活用できる能力を育むことを目標とします。 【到達目標】 画像や文章から意味のある情報を抽出するために、ディープラーニングの概要について理解し、課題に合わせた手法を的確に判断できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 AI・深層学習の概要 第2回 画像分類 第3回 セグメンテーション 第4回 画像生成 第5回 テキスト分類 第6回 アテンション 第7回 テキスト生成 第8回 AI・深層学習の社会実装に向けて 【学生へのメッセージ】 G検定の出題範囲は多岐に渡るため、本授業で扱う内容はその一部に限られます。今回の受講をきっかけに、各自での継続的な学習を進めていただければ幸いです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、出席確認のため表示名は学籍登録している氏名としてください。Zoomのアクセス情報等、授業を受講するにあたっての必要な情報は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。システムWAKABAの初期パスワードは、一定期間たっても変更されていないと、ロックアウトされログインできなくなりますので、必ず初期パスワード変更等を行い、メールの利用環境を確認しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学工学部准教授		
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 議論・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	この授業は、【自宅等 (Zoom)】で行います。	授業概要	【受講者が当日用意するもの】 1）マイク、スピーカー、Webカメラを備え、Zoomが動作するパソコンが必要です。 2）OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3）ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4）その他 ・Googleアカウントあるいは放送大学キャンパスメールアドレスにログインできることを確認してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 ・深層学習教科書 ディープラーニング G検定（ジェネラリスト）公式テキスト 第3版（猪狩宇司、今井翔太、巢籠悠輔、瀬谷啓介、徳田有美子、中澤敏明、藤本敬介、古川直裕、松尾豊、松嶋達也／翔泳社／¥3,080／ISBN=9784798184814） 【その他（特記事項）】 Zoomを利用するためには、一定の条件を満たす通信環境が必要です。例えば、通信状態が安定して維持できる環境が必要であり、ご自宅等でご利用の通信サービスで対応可能であるか必ずご確認ください。また、Zoomに接続するための通信費やプロバイダ代金等は、受講生各自の負担となります。Zoomに1時間接続すると約0.1～0.5GBのデータ通信量が発生し、4～5時間常時接続すると約0.5～2.5GBのデータ通信量の発生が見込まれます。また、モバイル端末でのZoomを利用した授業の受講は不可能ではありませんが、長時間の受講にはパソコンでの接続を推奨します。受講中に通信障害が発生した場合、まず授業科目を開講している学習センターに問合せを行ってください。 なお、ご自身の端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった場合、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2698854	【授業内容】 先ず沖縄を特徴づける「島」をキーワードに、琉球列島の成り立ちやそこに生息する様々な生物などから、東洋のガラパゴスとも呼ばれる沖縄の自然環境の特性を概観します。さらに、沖縄の人たちが、どのように自然を上手く利用しながら暮らしてきたのかを、植物利用を中心に紹介します。そして、なぜ沖縄が世界自然遺産に登録されたのか、また登録によって見えてきた様々な課題について、自然環境の保全と観光の両面から解説します。第7、8回は、琉球大学博物館で授業に関連した実物標本を見ながら、それまでの学習内容を振り返ります。 【到達目標】 ・沖縄の自然環境の特性を、生物の進化を踏まえながら説明することができる。 ・ツーリズムによる様々なデメリットについて理解し、その解決策について自らの考えを示すことができる。 【授業テーマ】 第1回 沖縄の自然環境の特性 第2回 やんばるの自然と環境問題 第3回 沖縄の外来生物 第4回 沖縄のホタル 第5回 沖縄の植物と人の暮らし 第6回 沖縄の世界自然遺産とこれからの課題 第7回 琉球大学博物館での沖縄の自然と文化の解説1 第8回 琉球大学博物館での沖縄の自然と文化の解説2 【学生へのメッセージ】 本土とは異なる沖縄の自然環境や生物の特性、また、そこに暮らしてきた人たちの自然との関わり方などから、私たちはこれからどのように自然と接していけば良いのかについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。 【受講前の準備学習等】 ・沖縄の自然や環境問題について、自分が興味を持った問題を書籍やインターネットなどからいくつかピックアップしておいてください。 ・配布資料等を使って復習し、沖縄の自然が抱える様々な課題について自分なりの解決策を考え、実際にそれが課題の解決に繋がるかどうかをシュミレーションしておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況およびレポートの評点により行います。 なお、レポートは、後日提出です。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 第7、8回到琉球大学博物館で解説します。「学生教育研究災害傷害保険」（100円）及び「通学中等傷害危険担保特約」（40円）の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5 参照）
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	沖縄の自然環境と世界自然遺産	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ササキ タケシ 佐々木 健志 元琉球大学博物館助教／学芸員	
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	この授業は、【1日目（11月7日）沖縄学習センター中講義室 2日目（11月8日）第3・4時限★琉球大学博物館・風樹館（沖縄県西原町字千原1番地 琉球大学構内）】で行います。	

授業概要

科目コード	2698730	【授業内容】 この講義に副題をつけるならば、『大人の常識が子どもたちの未来を破壊する』ともなるでしょう。 私たち大人の99%の人がお金に対して誤解をしているため、未来の子どもたちに大変なつけを残すことになるのです。それを防ぐには、私たち大人一人ひとりがお金に関しての正しい認識を持ち、それをひろげることが急務です。 この講義では、お金に関しての正しい認識を持つための基礎をゆっくり学んでいきます。 【到達目標】 信用創造について理解し、お金がいつ生まれ、いつ消滅するのかを説明できるようになる。 そして、国の財政や税金についての正しい判断ができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 衰退国家日本！？ 第2回 国民ひとり当たり1000万円の借金ってどういうこと？ 第3回 消費税は何パーセントにするべきなんだろう 第4回 お金の正体、お金はいつ生まれていつ消えるのか 第5回 国債発行の仕組みを知ろう 第6回 税金の役割と消費税 第7回 君たちはまだ長いトンネルの中 第8回 子どもたちの未来のためにどうすべきか 【学生へのメッセージ】 この講義では、知ってるようで本当は知らない身近なお金というものの本当の姿を知ってもらうのが目的です。国民一人一人がお金についての正しい知識を持つことで、財政や税金などを正しく見る眼鏡を手に入れましょう。 【受講前の準備学習等】 国の借金はどうすべきか？消費税は何％にするべきか？を自分なりに調べ、考えておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・目からウロコが落ちる奇跡の経済教室【基礎知識編】（中野剛士／ベストセラーズ／¥1,760／ISBN=9784584138953） ・MMT講義ノート（島倉原／白水社／¥2,200／ISBN=9784560094334） ・学者が見落としたお金の仕組み国家財政破綻論の破綻を数学的に証明（児保祐介／微風出版／¥1,760／ISBN=9784434309731） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	お金についての本当の話	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	120	
定員	22名	
担当講師	ヒノクマ タカノリ 日熊 隆則 沖縄学習センター客員准教授	
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

授業概要

科目コード	2698820	授業概要	【授業内容】 微生物は目に見えませんが、私たちの周りには多種多様な微生物が生活しています。この講義では、まず身の周りの微生物について知り、次に微生物が私たちの生活にどのように影響しているのかを理解します。市販されている発酵乳（ヨーグルト）を顕微鏡で観察し、微生物の形態を観察するとともに、発酵乳やチーズなどの乳製品が微生物の力を借りてどのように製造されているのかを学習します。
学習センター	沖縄学習センター		【到達目標】 身の周りの微生物について、その特長や性質を説明することができ、人類社会と微生物のかかわりを考えることができるようになる。
学習センターコード	47A		【授業テーマ】 第1回 身近な微生物：種類と特長 第2回 乳酸菌の観察：顕微鏡の取り扱い 第3回 乳酸菌の観察：乳酸球菌・乳酸桿菌・ビフィズス菌 第4回 乳製品の製造原理：原料乳を理解する 第5回 乳製品の製造原理①：発酵乳の製造原理と乳酸菌の役割 第6回 乳製品の製造原理②：チーズの製造原理と乳酸菌の役割 第7回 乳製品の製造原理③：チーズの製造原理と乳酸菌の役割 第8回 身近な微生物：授業のまとめとレポート執筆指導
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 この授業では、微生物がもつ「発酵の力」を取り扱います。「発酵の力」は目に見えないので、“可視化”するためには化学の力とともに好奇心や想像力が必要です。一緒に考え、話し、微生物と友達になりましょう。
科目名	身近な乳酸菌の世界		【受講前の準備学習等】 微生物と人類社会（環境）との関わりについて具体例をリストアップし、関りの内容を具体的に整理しておきましょう。
科目区分	専門科目：社会と産業		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	310		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノートまたはメモ用紙
定員	25名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	タナカ ヒロシ 田中 博 沖縄工業高等専門学校教授		【その他（特記事項）】 1 日目に微生物の顕微鏡観察実験を実施します。「観察してみたい微生物」を含む食品等（市販品で未開封の製品に限る）があれば、授業当日、持参してください。顕微鏡観察の際は、「学生教育研究災害傷害保険」（100円）に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター		

科目コード	2698749	授業概要 【授業内容】 本授業の目的は、基本的で重要な文法及び英語表現を学び、英会話や英文読解などの実践的な英語運用能力を高めることです。授業では、文法事項の説明及び質疑に加えて、受講生間のインタラクションも取り入れながら理論と実践の融合を図っていきます。間違いを気にすることなく、積極的に参加して楽しみながら、総合的な英語力向上を目指すことにしています。 【到達目標】 基本的英文法と英語表現に関するスピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、インタラクションのスキルを学ぶことで、英語のコミュニケーション運用能力を高めることでができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 基本文型と文の種類 第2回 準動詞（不定詞、動名詞、分詞）と慣用的表現 第3回 関係詞（関係代名詞と関係副詞）と慣用的表現 第4回 比較級、仮定法と慣用的表現 第5回 時制（過去形、現在形、未来形）とJournalの書き方 第6回 現在完了形と受動態 第7回 WH疑問文と基本的英語表現 第8回 英文読解と要約文の作り方 【学生へのメッセージ】 Let's enjoy your progress! 英語は実技ですから、継続して学び続けることが必要です。可能な限り話し、聞き、読み、書いてみましょう。また、英検2級、準2級など英語検定試験に挑戦してくれることを期待します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、文法事項等の自己学習に取り組んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 英語辞書（電子辞書可）、ノートを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	基本英文法と英語表現	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	25名	
担当講師	シモジ トシヒロ 下地 敏洋 沖縄学習センター客員教授	
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2698790	授業概要 【授業内容】 なぜアンガーマネジメントが必要とされるのか？アンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを深く理解することにより職場や日常生活の場で楽しい日々を暮らすことができるヒントに気づかされます。本授業ではアンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを含めた演習を行います。 【到達目標】 アンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションについて理解し、説明ができる。 【授業テーマ】 第1回 アンガーマネジメントとは？アサーティブコミュニケーションとは？何か！理解を深める 第2回 自分の怒り感情と上手に向き合う 第3回 事例でわかるアンガーマネジメント 第4回 職場での怒りとはどんなもの？ 第5回 アサーティブコミュニケーションを活用した怒りのコントロール 第6回 急な怒りを静める対処術 第7回 怒りの体質改善に効くエクササイズ 第8回 やってはいけない怒り方、上手な怒り方まとめ 【学生へのメッセージ】 職場や家庭、人々との日常生活にも、どこにでも活用できるアンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションと一緒に学びましょう。 【受講前の準備学習等】 受講前に箇条書きにまとめておいてください。 ①日常生活で自分自身が怒りたくなる場面や嬉しいと思える言葉。 ②アンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを学び、職場や家庭、人々との日常生活にどのように活かしたいのか。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・介護職スキルアップブック手早く学べてしっかり身につく！介護現場のアンガーマネジメント（梅沢佳裕／秀和システム／¥1,760／ISBN=9784798070704） ・アンガーマネジメント11の方 法怒りを上手に解消しよう（著者：ロナルドT.ポッターエフロン、パトリシアS.ポッターエフロン、監訳：藤野京子／金剛出版／¥3,740／ISBN=9784772415132） ・アンガーマネジメント トレーニングブック（日本アンガーマネジメント協会／ミネルヴァ書房／¥2,200／ISBN=9784623096466） ・マンガこころbooksこころのクセを考える まじめA子ちゃん、おいにさとする（監修：越野好文、作・画：志野靖史、おおはなヒマワリ／講談社／¥1,320／ISBN=4061558048）
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	介護現場の アンガーマネジメント	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	22名	
担当講師	オオワン トモコ 大湾 知子 沖縄学習センター客員准教授	
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2689146	授業概要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター	沖縄学習センター		
学習センターコード	47A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	イノウエ サナ 井上 紗奈 琉球大学人文社会学部准教授		心理学の基礎的な実験3種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、指定したすべての実験レポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学実験の概要 第2回 実験1「パーソナルスペース」の実施と解説 第3回 統計的分析、レポートの書き方 第4回 実験2「心的回転」の実施 第5回 実験2「心的回転」の解説 第6回 実験3「自由再生による記憶の系列位置効果」の実施 第7回 実験3「自由再生による記憶の系列位置効果」の解説 第8回 全体のまとめ、レポート執筆指導 【学生へのメッセージ】 実験には、参加者同士が接近する内容が含まれます。マスクの着用が必要です。実験を通して、各自持参したノートパソコンを使用します。データ分析、レポート作成に必要なエクセル、ワード、パワーポイントの操作にあらかじめ慣れておいてください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		
実施会場	沖縄学習センター		【受講者が当日用意するもの】 1) 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2) OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3) ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・PowerPointが必要です。 ・Excelが必要です。 ・Wordが必要です。 4) その他 ・マスク（実験1で使います）。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。 ・教科書指定はありません。当日、資料を配布します。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学研究のためのレポート・論文の書き方マニュアル（瀬谷安弘・天野成昭／ナカニシヤ出版／¥2,860／ISBN=9784779514548） ・心理学ベーシック第2巻◆なるほど！心理学実験法（三浦麻子 監修 佐藤暢哉・小川洋和 著／北大路書房／¥2,420／ISBN=9784762829963） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2698803	【授業内容】 園芸福祉の活動や実践を通して、どのような効用・効果が得られるのか、また、園芸福祉でいうところの園芸の範囲にはどのようなものが含まれ、身近なところで活用できる材料や方法には何があるのかなど、受講者の考えを聞きながら授業を進めます。さらに、福祉（well-being）が意味する内容について、講義、写真、動画などを通して理解をしていく授業とし、簡単な実施プログラムの計画ができるようにします。 【到達目標】 ①園芸福祉の概念を理解し説明できるようになる。 ②園芸福祉の効用について学び、精神的・心理的効果が説明できるようになる。 ③誰もが楽しめる園芸福祉ガーデンの技法を理解し、説明できるようになる。 ④園芸福祉の考え方に則った実施プログラムを計画することができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 園芸福祉の概念 第2回 園芸福祉の効用 第3回 園芸福祉の健康効果 第4回 園芸福祉によるコミュニティ 第5回 園芸福祉の材料 第6回 いろいろな植物の活用例 第7回 誰もが楽しめるようなガーデンのために 第8回 園芸福祉の実践プログラムづくり 【学生へのメッセージ】 植物が身近にある生活には、うるおいや安らぎを感じることができます。植物との関わりを生活の中に取り入れ、生活の質を向上させていく活動・実践が園芸福祉です。園芸活動が持つもう一つの意味・役割と一緒に学びましょう。 【受講前の準備学習等】 自身の生活と植物がどこで関わっているのか、どのような意味があるのかについて、周囲を見回して考えをまとめておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・園芸福祉入門（日本園芸福祉普及協会編／創森社／¥1,676／ISBN=9784883402083）
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	園芸福祉入門	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	310	
定員	30名	
担当講師	アカミネ ヒカル 赤嶺 光 琉球大学農学部教授	授業概要
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2698838	授業概要 【授業内容】 平安時代中期に世に送り出されてから現代に至るまで、国内外を問わず人々を魅了してきた『源氏物語』。血の通った人間たちが織りなす原作世界の奥行きを味わうことを中心に、個性的な現代語訳やリライトもの、漫画、舞台、映像作品など、現代におけるさまざまな再生作品も紹介します。第6回までは原作である『源氏物語』の概説と主な読みどころの解説、第7回・第8回は再生作品の紹介を予定しています。 【到達目標】 現代人の知性や感性をも揺さぶる『源氏物語』のメッセージ性を、物語のさまざまな仕掛けや展開に即して理解し、その豊かな作品世界を味わうことができる。 【授業テーマ】 第1回『源氏物語』の概説－作者・時代背景・概要など－ 第2回『源氏物語』正編の世界①光源氏の誕生～少年期 第3回『源氏物語』正編の世界②光源氏の青年期～壮年期 第4回『源氏物語』正編の世界③光源氏の熟年期～老年期 第5回『源氏物語』正編を彩る多様な女性たちの魅力 第6回『源氏物語』続編の世界－宇治十帖を中心に－ 第7回 再生される『源氏物語』①読む－現代語訳・リライト・漫画など－ 第8回 再生される『源氏物語』②観る－絵巻・絵画・舞台・映画など－ 【学生へのメッセージ】 初めて『源氏物語』に触れる受講者、古文を読み慣れない受講者でも理解できる内容にします。原文も味わいますが、原文だけで読み込むレベルは目指さないので、訓読注釈のような高度な内容を期待する方は受講をお勧めしません。第8回後半に、受講してわかったことや感想等をレポートにまとめていただきます。 【受講前の準備学習等】 第1回の授業でウォーミングアップを兼ね、『源氏物語』についてコメント（好きな登場人物、触れた機会、興味を抱いた理由等なんでも）していただきますので、ご準備ください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	『源氏物語』 －原作と再生作品	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ハギノ アツコ 萩野 敦子 琉球大学教育学部教授	
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

科目コード	2698773	【授業内容】 「異文化」という言葉はよく耳にしますが、具体的にはどのようなことを指すのでしょうか。異文化に触れることで何が得られるのでしょうか。本講義では、言葉と文化の関係を探り、日本のポップカルチャーやジェスチャーを通じて文化の違いを体験します。日本語学習者の視点から異文化コミュニケーションの違いを考え、日本語のジェンダー表現や敬語、あいづちの習慣を学び、誤解を避ける方法を探究します。さらに、日本語教師の視点から異文化を理解し、多様な価値観を尊重する姿勢を養います。学びを通じて、異文化理解を深めましょう。 【到達目標】 ・異文化コミュニケーションを円滑にするために、言葉と文化の関係を理解し、価値観の違いを的確に判断できるようになる。 ・日本のポップカルチャーやジェスチャーを通じて異文化を体験し、多様な文化の特徴や考え方が理解できるようになる。 ・日本語のジェンダー表現や敬語、あいづちの習慣を学び、誤解を防ぐ適切なコミュニケーション方法が身につく。 【授業テーマ】 第1回 日本のポップカルチャーと異文化理解 第2回 日本語とジェスチャー 第3回 日本語を学ぶ外国人との異文化交流 第4回 異文化コミュニケーションと言葉の誤解 第5回 日本語とジェンダー 第6回 日本の言葉と習慣 第7回 日本語教師から見る異文化 第8回 まとめ（振り返り） 【学生へのメッセージ】 一方的に伝えるのではなく、意見交換を重視した双方向型の授業です。グループワークやディスカッションを通じて協力しながら学び、実践的な理解を深めます。主体的に参加し、楽しく学びましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスに記載されている各回の講義テーマを事前に確認し、関連する内容について自己学習を行ってください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・まんが クラスメイトは外国人 入門編—はじめて学ぶ多文化共生—（「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会／明石書店／¥1,320／ISBN=9784750338255） ・まんが クラスメイトは外国人 課題編（第2版）—私たちが向き合う多文化共生の現実—（「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会／明石書店／¥1,430／ISBN=9784750353951） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	日本語で広がる異文化	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	210	
定員	22名	
担当講師	ショウ マキコ 尚 真貴子 沖縄国際大学特任教授	
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター	

授業概要

科目コード	2689162	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における実験的研究を３つ（ストループ効果、短期記憶検索、SD法）取り上げます。 受講生の皆さんは、それらの実験に実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学の研究法 第2回 ストループ効果の実験１ 第3回 ストループ効果の実験２ 第4回 心理学的なレポートの作成について 第5回 短期記憶検索の実験１ 第6回 短期記憶検索の実験２ 第7回 SD法１ 第8回 SD法２ 【学生へのメッセージ】 心理学的な研究法を習得するという事の中には、単に実験や調査に参加するだけでなく、得られたデータをパソコンで集計・分析すること、科学的な形式でレポートにまとめることも含まれます。やることは非常に多いので、積極的な参加意図を持って受講してください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続は不要です。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウィルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 １）持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 ２）OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 ３）ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 ４）その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 なお、色識別を要する実験課題があります。
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験３	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ヒロセ ヒトシ 廣瀬 等 琉球大学教育学部教授	
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時 限 10:00～11:30 第２時 限 11:40～13:10 第３時 限 14:00～15:30 第４時 限 15:40～17:10 12月20日(日) 第１時 限 10:00～11:30 第２時 限 11:40～13:10 第３時 限 14:00～15:30 第４時 限 15:40～16:25	
実施会場	沖縄学習センター	

ライブWeb授業

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

シラバス参照

AIリテラシー入門

科目コード	4003705	【授業内容】 本講座は、生成AI (Gemini) を相棒として使いこなすための実践的なAIリテラシー入門です。「なぜ今AIが必要か」という背景や、ハルシネーション・情報漏洩などのリスクを正しく理解した上で、効果的な指示出し(プロンプト)の基本を学びます。後半はプログラミング不要の業務効率化に挑戦。機密データを守るため「データとシステムを分離」する設計思考を身につけ、AIにコードを書かせてGASやスプレッドシートを用いた独自の自動化システムの構築・公開(デプロイ)までを体験します。 【到達目標】 - 生成AIの仕組みとリスクを理解し、安全に活用できる。 - Geminiへの適切なプロンプトで業務効率化を実践できる。 「データとシステムの分離」を理解し、機密情報を守る。 - プログラミング未経験でもAIにコードを書かせ、GASによる自動化システムを構築・公開できる。 【授業テーマ】 第1回なぜ今、AIを使わないと「まずい」のか？(社会の変化) 第2回生成AIの仕組みと「落とし穴」(ハルシネーションとセキュリティ) 第3回Geminiに触れてみよう(基礎操作と対話のコツ) 第4回思考を拡張する実践ワーク(要約・翻訳・壁打ち) 第5回「システム」と「データ」の分離という考え方 第6回AIと作るローカルツール(実践) 第7回スプレッドシートの「データベース化」とGASの基礎 第8回小さなシステムのデプロイ(公開)と総括 【学生へのメッセージ】 パソコンでGemini(生成AI)の実習を行います。事前にGoogleアカウント(無料版可)をご用意ください。本講座は入門であり、すでにバイブコーディングを実践されている方向けではありません。 【受講前の準備学習等】 アカウントやサーバー、スプレッドシート、クラウドなどIT用語が出てきます。少し学んでおいてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 - インターネット環境のあるパソコン(タブレット端末やスマートフォンは推奨しません)、マイク・ヘッドフォン等、Zoom授業の受講に必要な設定等の準備。 - Googleのアカウント。 【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 専用のシステム上で教材・資料を配付します。 Webカメラの準備を推奨します。 「ライブWeb授業」は、ご自身のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配付、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等は専用のシステム(LMS)上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題(レポート等)を提出します。 受講の検討にあたっては、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/
学習センター	沖縄学習センター	
学習センターコード	47A	
クラスコード	WK	
科目名	AIリテラシー入門	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	120	
定員	20名	
担当講師	オオモリ ヨウスケ 大森 洋介 (琉球大学研究共創機構特命准教授)	
日程 実施時間	2026年11月12日(木)第3時限 14:00～15:30 2026年11月12日(木)第4時限 15:40～17:10 2026年11月19日(木)第3時限 14:00～15:30 2026年11月19日(木)第4時限 15:40～17:10 2026年11月26日(木)第3時限 14:00～15:30 2026年11月26日(木)第4時限 15:40～17:10 2026年12月03日(木)第3時限 14:00～15:30 2026年12月03日(木)第4時限 15:40～16:25	
実施会場	この授業は、【ライブWeb授業のため自宅等(学習センターでの受講は不可)】で行います。	

戻る